

第 16 回 ハイライフセミナー

食の健康と  
世代別アプローチに関する研究

～幼児・児童保育世帯に向けた食育アプローチ～

主催：財団法人ハイライフ研究所

『食の健康と食育マーケティング研究会』

協賛：社団法人日本セルフ・サービス協会

株式会社 読売広告社

■ハイライフ研究所の「食」に関する研究取組

- 日本の食文化に見るライフスタイル(縄文～江戸)
- 日本の食文化に見るライフスタイル(明治～平成)
- 食に関する意識調査
- ブランドを通して見た食ライフスタイル
- 食ライフスタイルの変化のこれまでとこれから



食ライフスタイル  
の変化  
食を取り巻く環境  
変化・悪化  
問題点の噴出

食生活指針  
食育基本法

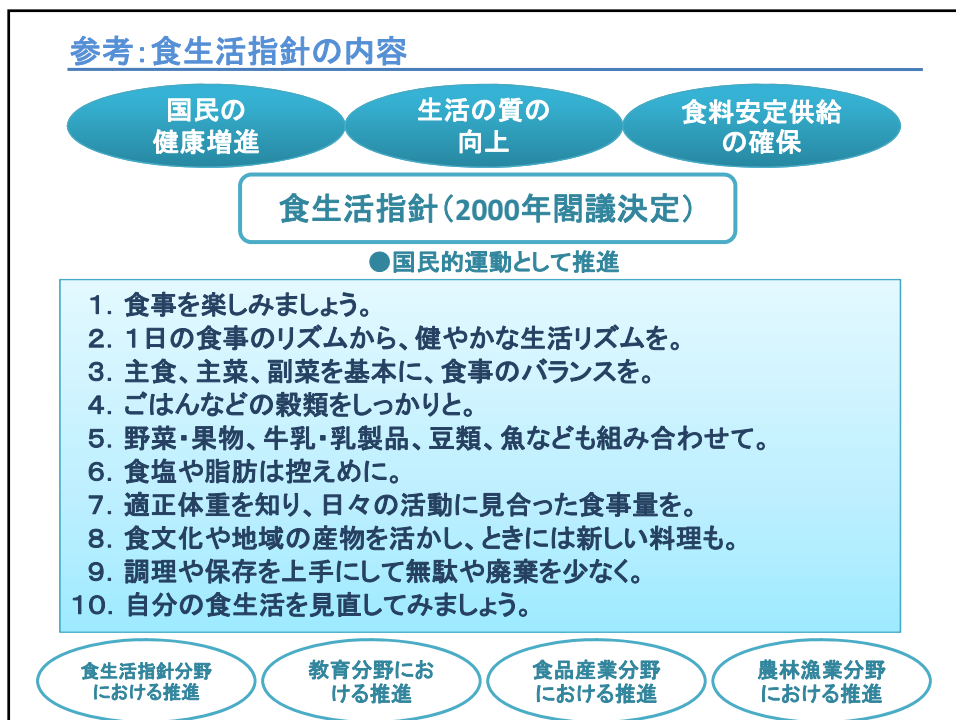
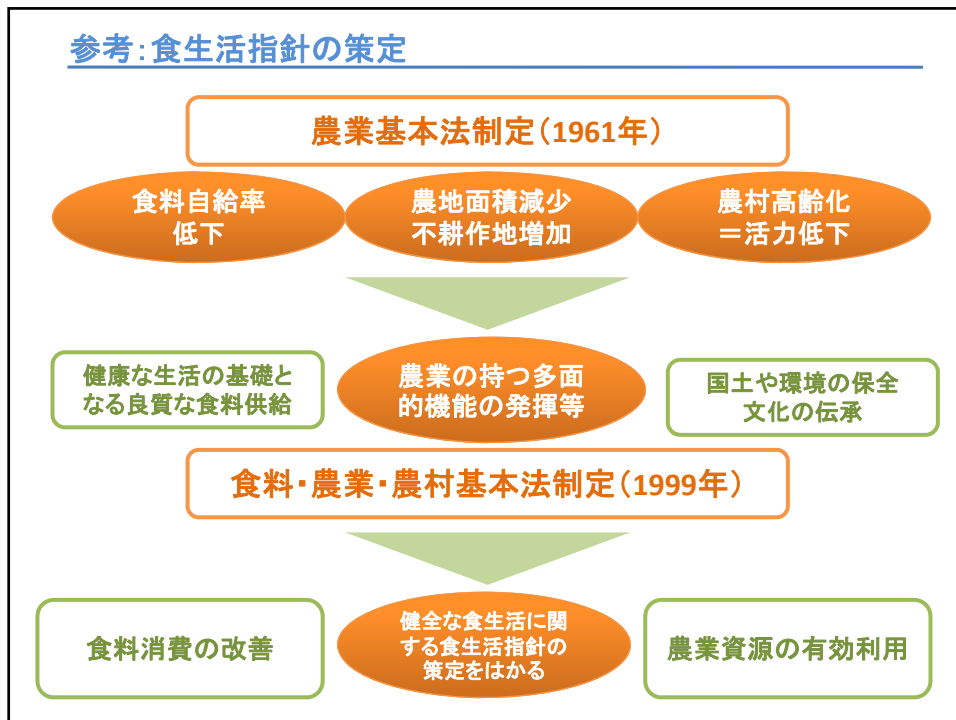
食ライフスタイルに関する研究  
↓  
食生活課題に対応した研究へ

- 食と家族に関する研究  
～食卓ニケーションの復活～
- 家庭の食育を支援する社会サービスに関する研究
- ストア店頭における食育支援(セミナー)

■ 世代別食育アプローチの視点と本旨

財団法人 ハイライフ研究所  
専務理事 高津春樹

食育基本法  
と  
国民運動としての食育推進運動



## ■食育とは

2005・06・10

食育基本法  
成立

### 「食育」とは

- 生きる上での基本であって、知育、徳育、体育の基礎となるべきもの。
- 様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てること。

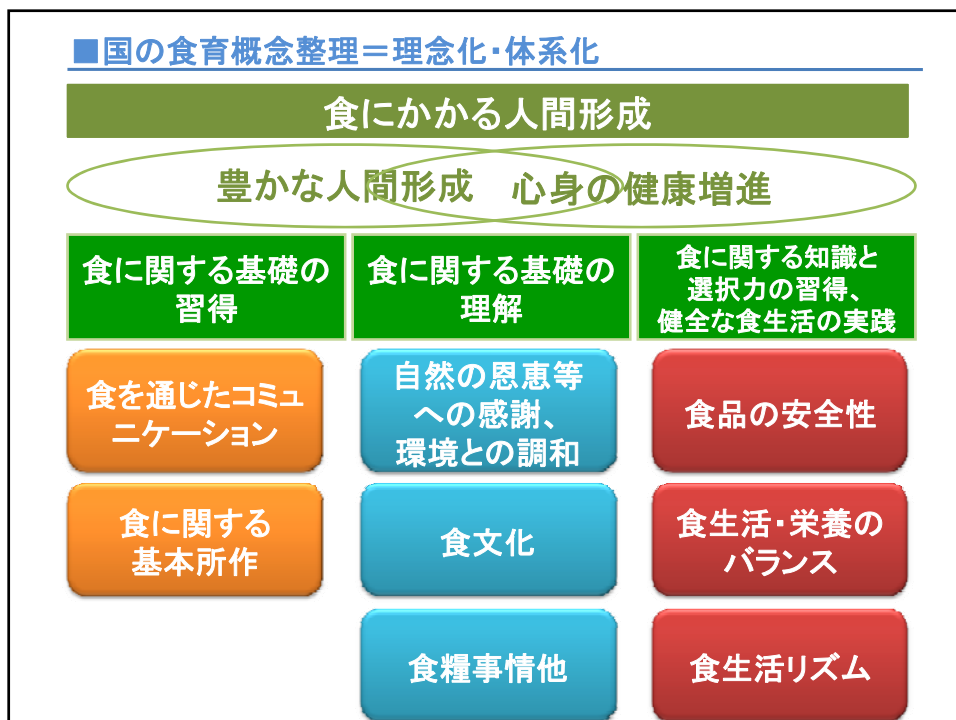
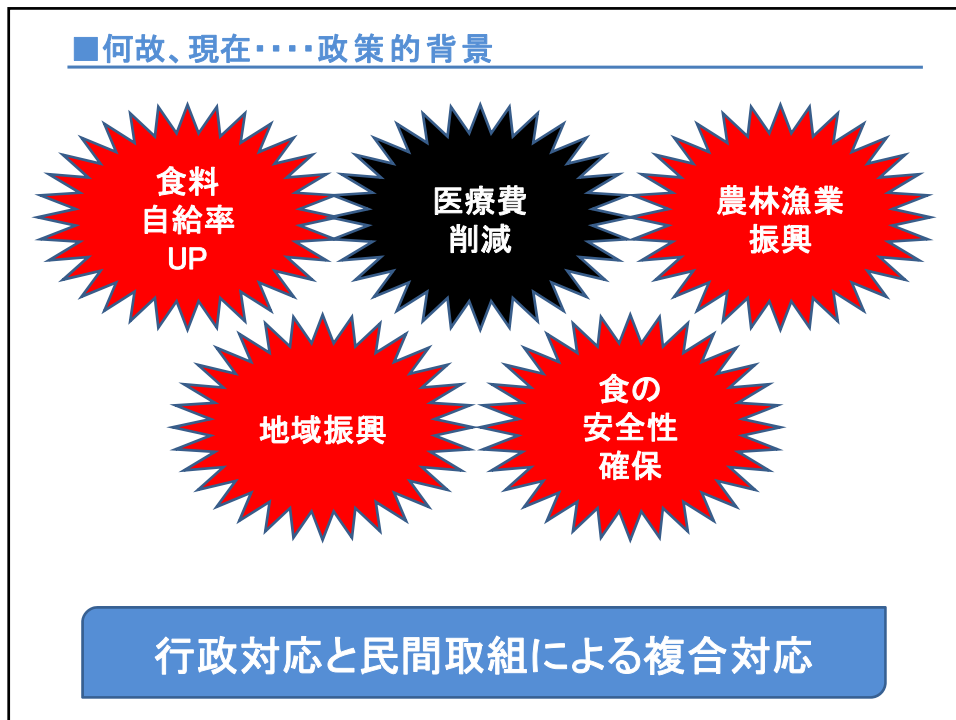
食育基本法前文より

## ■何故、現在……食をめぐる現状と課題

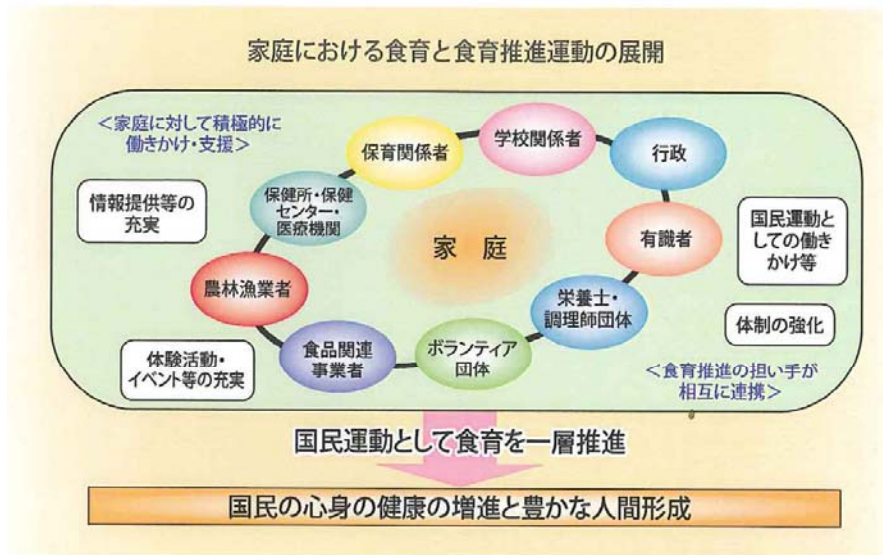
内閣府・食育推進HPより



■質の違う水平的な食育推進課題



## ■国の施策……国民運動としての食育推進



内閣府:「いま食育 2007」より

## ■国の施策



内閣府

■ 国の施策

### 食育バランスガイド

あなたの食事は大丈夫？

1日分

**1. 主食(炭水化物)**  
200g(雑穀を含む) 4割程度

**2. 副菜(野菜類)**  
250g(海藻類も含む)

**3. 主菜(肉・魚・卵)**  
100g(肉・魚・卵の合計) 3割程度

**4. 牛乳・乳製品**  
1杯(200g)程度 1割程度

**5. 果物**  
100g(果実・果汁)程度 1割程度

※1歳未満の子供は、このガイドを参考にせず、医師の指導に従ってください。

■ 取組

実施主体	内容	実施時期	実施内容	実施場所	実施状況	効果・成果
小浜市	食育文化都市宣言	2017年	食のまちづくり条例制定	小浜市	宣言文書作成、条例制定	食育文化都市としての認知度向上
青森県鶴田町	朝ごはん条例	2018年	朝ごはんの重要性を促す条例制定	鶴田町	条例制定	朝ごはんの重要性の浸透
長野県木島平村	ブナの森自然劇場	2019年	自然体験を通じた食育推進	木島平村	劇場開催	食育意識の向上

実施主体	内容	実施時期	実施内容	実施場所	実施状況	効果・成果
富土宮市	フードバレー構想	2017年	食育推進計画策定	富土宮市	計画策定	食育推進の体制整備
高尾山	親子の野外料理教室	2018年	親子参加の食育イベント	高尾山	教室開催	親子での食育意識の醸成

**小浜市**  
「食育文化都市」宣言  
食のまちづくり条例

**富士宮市**  
フードバレー構想  
**青森県鶴田町**  
朝ごはん条例  
**長野県木島平村**  
ブナの森自然劇場

高校生食育王選手権  
大会  
漁業体験修学旅  
高尾山での「親子  
の野外料理教室」

## ■取組

### ■2006年度食育コンクール受賞取組

#### 【最優秀賞 農林水産大臣賞】

- ・スクラム組めばみんなHAPPY! ～立場を越えて「食」でつながり、人を育む～  
一食ネット鳥栖(食生活改善分野) 佐賀県鳥栖市

#### 【優秀賞 農林水産省 消費・安全局長賞】

- ・孫と一緒にクッキング! ～3世代「食育」講座～  
一高槻市保健センター(食生活改善分野) 大阪府高槻市
- ・ぼくらの元気は「朝ごはん条例」から ～食から栄養・地域から愛情～  
一青森県鶴田町立菖蒲川小学校(教育分野) 青森県北津軽郡鶴田町
- ・平和堂「食育活動宣言」～総合小売業の食育活動～  
一株式会社 平和堂(食品産業分野) 滋賀県彦根市
- ・地域ぐるみで取り組む「ぎょしょく教育」～食育で水産と地域を紡ごう～  
一愛南町ぎょしょく普及推進協議会(農林漁業分野) 愛媛県南宇和郡愛南町

## ■現実展開

### ■食育推進目標

- ・食育に関心を持っている国民の割合の増加
- ・朝食を欠食する国民の割合の減少
- ・学校給食における地場産物を使用する割合の増加
- ・「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている国民の割合の増加
- ・内臓脂肪症候群(メタリックシンドローム)を認知している国民の割合の増加
- ・食育の推進に関わるボランティアの数の増加
- ・教育ファームの取組がなされている市町村の割合の増加
- ・食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている国民の割合の増加
- ・推進計画を作成・実施している都道府県及び市町村の割合の増加

### ■数値目標を設定し運動推進



■食育推進運動の問題点

食の理念化・体系化

背景としての政策課題

水平的な展開課題

包括的な展開

アウトサイドインの戦略

国の施策として理念に基づいた統合的な推進

**現実の食生活課題との距離感**

世代別食育アプローチを考える

### ■食育展開視点……ストア店頭における食育支援セミナーより

- 食にかかる人間形成という大きな理念の達成を目指す包括的展開

- 理念ではなく家庭の食生活の現実から考える
- 実効性を念頭に組み立てる

脱理念  
脱水平

現実対応  
垂直展開

- 水平的課題対応で対応分散
- 実施者側の理解が難しい
- 包括的過ぎて実効性が問題
- 現実課題の把握が弱いのでは

- まずは、家庭における食実態・課題から対応を模索する
- 世代・地域を掛け合わせた垂直的な展開の必要性

### ■世代別食育アプローチの考え方

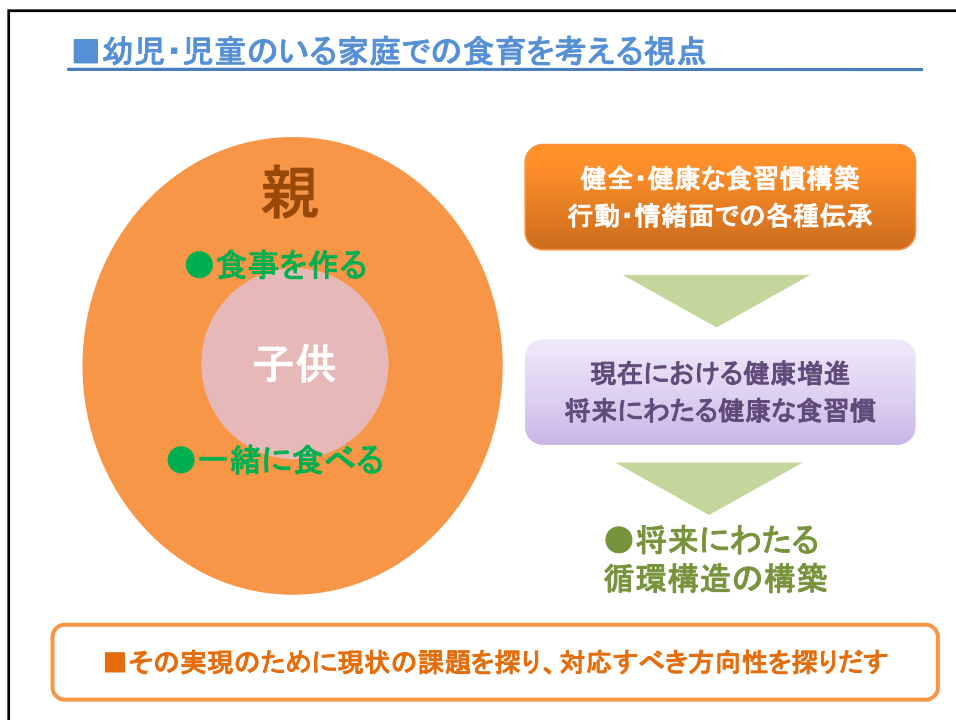
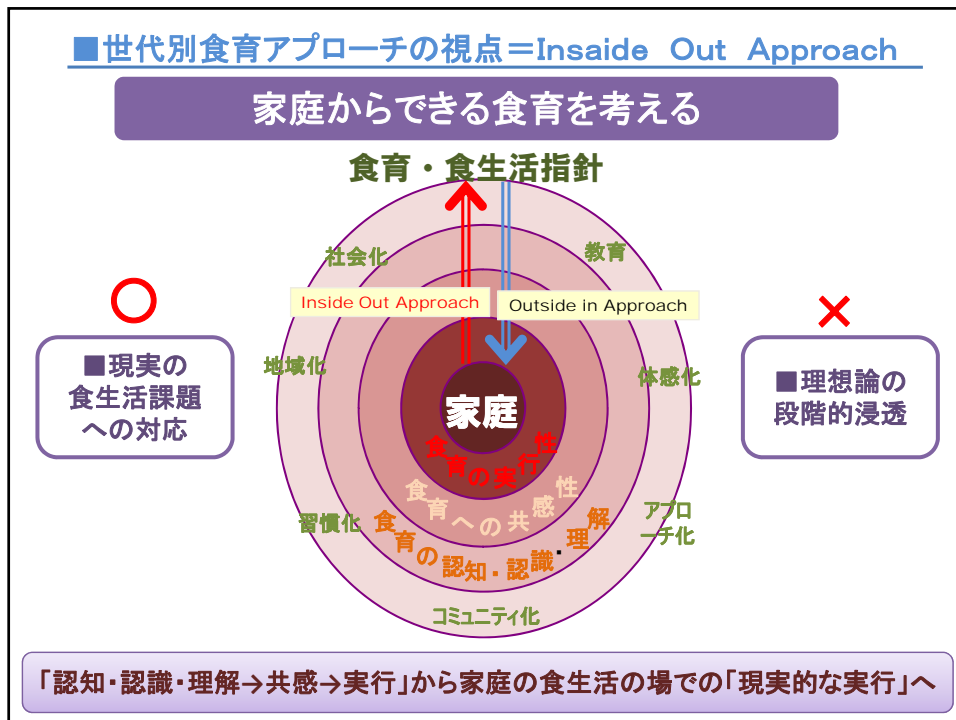
- 理念に基づいた包括的な食育推進運動を補完する現実的かつ実効性の高い生活者アプローチの必要性

包括展開による  
ターゲットの  
拡散化を防ぐ

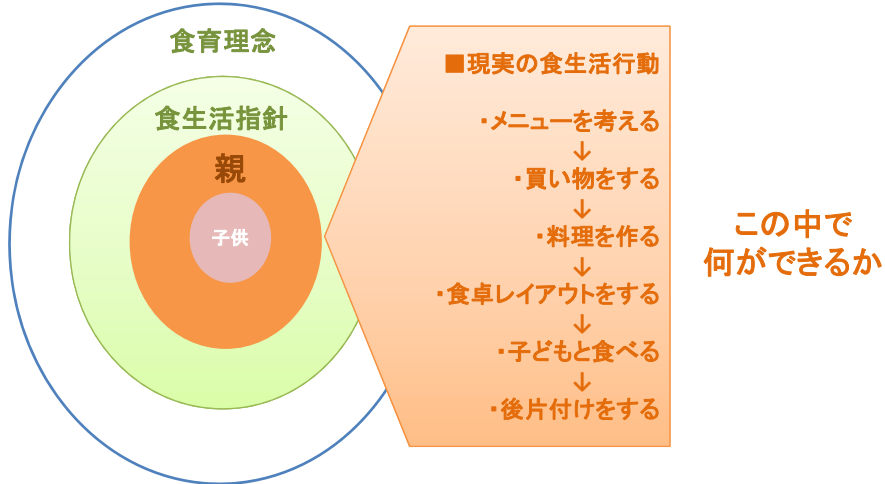
理念化による  
現実課題との  
ギャップを埋める

- 世代・世帯を垂直的に分解しそれぞれの食生活の実態から食育課題を割り出し現実的な対応策を考えアプローチを図る

※本年度は日本の将来を担うかつ食育推進の基本ターゲットとなる幼児・児童にスポットをあて「幼児・児童を持つ世帯」を対象に研究を進めた



### ■ 幼児・児童世帯の食生活行動



### ■ 幼児・児童世帯の食育の基本課題は何か—何に取り組むのか

